



熱海の散歩道にて (撮影: 林 桂多)

# 渋谷スクランブル交差点 韋駄天走り

前立腺ガンの手術を受けるために入院する日の朝、娘から電話がかかってきた。「お父さん、交通事故に遭った」今、どこにいる「スクランブル交差点」との答えに、入院患者は一気に親父

# 佐伯通信

2011年4月(平成23) 第3号  
発行 佐伯泰英事務所  
担当/講談社  
禁・無断転載

に立ち戻り、スクランブル交差点に向かって走った。走った。私を車で病院に送る前に娘が銀行に行ったことは承知していた。すでに交差点には救急車が到着し、警官もいた。父親と名乗ると救急車の後ろ扉が開き、娘が首にコルセットを着けられ、ストレッチャーに寝かされているのが見えた。事情を聞くと、駐車していたバンのドアがいきなり開き、避けようもなく自転車の娘はドアに当たって道路に投げ出された

## 佐伯泰英 / 近刊のお知らせ

7月 14日 発売予定	6月 10日 発売予定	5月 28日 発売予定 2日 発売予定
----------------	----------------	------------------------

《ハルキ文庫》  
**鎌倉河岸捕物控 18**  
『熱海湯けむり』

《新潮文庫》  
古着屋総兵衛影始末「決定版」8 『知略』  
※以後⑨「難破」6月28日、⑩「交趾」7月28日、発売予定

《祥伝社文庫》  
**密命 25**  
『佐伯通信 第4号が入ります。初版初回出荷分限定』  
『覇者 密命・上覧剣術大試合(巻之二十五)』

《双葉文庫》  
**居眠り響音 江戸双紙 37**  
『二矢ノ秋』

※諸般の事情により、発売日、書名などは変更になる場合があります。ご了承ください。

佐伯泰英事務所の公式ホームページができました。  
<http://www.saeki-bunko.jp> 佐伯泰英 ウェブサイト

この「佐伯通信」は、佐伯泰英事務所が下記出版社の協力のもと年七回発行いたします。  
株講談社、株祥伝社、株幻冬舎、株新潮社、株角川春樹事務所、株双葉社、株光文社

伊那衆スポーツ 通巻第1号

無敗神話 座光寺、最強追え!!

藤之助

文代寄合

伊那衆異聞

全国の時代小説ファンが毎月待ちわびる佐伯作品群、強き優しき主人公

伊那衆異聞」に登場する

中でも最強の呼び声高いのが「文代寄合 小藤次、大黒屋総兵衛……」

さらには磨き上げられた愛刀藤源次助真から始まり西洋の馬上剣、そしてヒロイン高島玲奈に手ほどきされた連発式短銃、果ては敵船を一撃で轟沈させる三挺鉄砲と、手にする武器もじつに多彩。

胸のすく新幕末小説 文代寄合 伊那衆異聞 講談社文庫

という。「具合は」と問うと「左腕が動かない」との答えだ。救急隊員らは受け入れ先の病院に電話していた娘は掛かりつけの病院に運んでほしいと頼んだそうなの。 「ちょっと待って下さい」と救急隊員の電話を制した私は、「某病院ではためか」と尋ね返し、これから自分がそちらに入院する旨を付け加えた。

娘が入院せねばならないのなら、私と一緒に病院のほうで万事都合がよいと咄嗟に判断した。介護が必要

な老犬を抱えて、女房が娘と私の病院の二つを駆け回るのではないかと大変だ、との思いもあった。救急隊員がすぐに電話連絡して受け入れが決まった。

「ところでお父さんはなんの病気で入院を」前立腺ガンの手術ですけど「ならば娘さんと一緒にお父さんも救急車で行きませんか」「はあ」

付添人が怪我人になり病人が俄か付き添いに回り、救急車で一緒に病院入り、では洒落にもなるまい。まあ

あそんな騒ぎがあったお蔭で、手術前の不安など吹き飛んだ。

娘は鎖骨骨折全治三カ月と診断され、私の手術も無事済みでした。最近、験が悪いことが重なっておりましたが、渋谷スクランブル交差点韋駄天走り」で、悪い運は、はい、あの人込みに祓い落としました。

「佐伯通信」第4号は、6月10日発売予定の『覇者 密命・上覧剣術大試合(巻之二十五)』(祥伝社文庫)に入ります。